

日本語学会第 139 回大会 プログラム

会 長 影山 太郎
大会運営委員長 小野 尚之
大会実行委員長 西光 義弘

期 日： 2009年 11月 28日（土）、11月 29日（日）

会 場： 神戸大学 大学教育推進機構

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 1 丁目 2-1

電話・FAX：大会前日まで、電話 078-803-5547、FAX078-981-1207（西光研究室）

大会当日、電話・FAX 共用 078-803-7406（水口研究室）

※駐車場の利用はできません。

※キャンパス内は指定の場所以外での喫煙はできません。

新型インフルエンザへの対応について

新型インフルエンザの発生により会場校が全学休講措置等を決定した場合には、本学会も大会を中止することがあります。開催に関する情報は学会ホームページ上で随時更新しますので、大会参加前に必ず情報の確認をお願いします。（<http://wwwsoc.nii.ac.jp/ljsj2/>）

—— 第 1 日（11 月 28 日） ——

10:30-13:00	評議員会（評議員の方はご出席ください。）	E 棟 E-401
12:00-13:30	受付・大会予稿集販売	K 棟入口付近
13:30-17:50	口頭発表（詳細は 2-3 ページにあります。）	K 棟
18:00-20:00	懇親会（申し込み方法は 8 ページをご覧ください。）	A 棟学生ホール

—— 第 2 日（11 月 29 日） ——

9:30-11:20	ワークショップ（詳細は 4 ページにあります。）	K 棟
11:30-13:00	ポスター発表（詳細は 4 ページにあります。）	K 棟 3 階ホール
13:00-13:10	会長挨拶、会場校挨拶（福田 秀樹神戸大学長）	B 棟 B-110
13:10-15:40	公開シンポジウム「言語学概論を見直す」 司会 加藤 重広（北海道大学） 「言語学概論」の理念と方法論 定延 利之（神戸大学） 「個別言語の理解に繋がる言語学概論」という選択肢 林 徹（東京大学） 日本語教育・日本語学研究にとっての言語学概論とは？ 名嶋 義直（東北大学） 隣接分野の言語研究者が「言語学概論」に望むこと 横山 悟（東北大学）	

※公開シンポジウムはどなたでも参加できます。

口頭発表（11月28日（土） 13:30-17:50）（大学教育推進機構 K棟）

	A会場 （K棟2階 K-202教室） 司会： 高野 祐二（前半）， 上田 由紀子（後半）	B会場 （K棟3階 K-302教室） 司会： 遠藤 喜雄（前半）， 浦 啓之（後半）
13:30-14:00	Hideki MAKI, Kenichi GOTO, Mohammed Joynal ABEDIN, Juri YOSHIMURA On the structure of the stative construction with a genitive subject in modern Bengali	石野 尚, 浦 啓之 第二言語習得における「排他的選択転移仮説」と 日本語束縛の「多重パラメーター」分析
14:05-14:35	Dónall P. Ó BAOILL, Hideki MAKI On the nature of A-movement in modern Ulster Irish	浅野 真也, 浦 啓之 日本語の属格交替と Irrealis Mood
14:45-15:15	KANDUBODA, A. B. Prabath, TAMAOKA Katsuo Priority information in determining canonical word order of colloquial Sinhala sentences	三上 傑 日本語における所有文 -Multiple Agree を介しての構造格の認可-
15:20-15:50		稲田 俊一郎 非頭在的主名詞を持つ関係節における主名詞の 生起位置
15:50-16:10	(休憩)	(休憩)
16:10-16:40	西前 明 例外的格標示構文の名詞化と受動名詞句について	藤田 元 Multiple Transfer による多重属格構文の分析
16:45-17:15	朝賀 俊彦 疑似部分構造に生起する数量詞的名詞について	中村 涉 現代ドイツ語の限定詞における格融合 -最適性理論による分析-
17:20-17:50	藤巻 一真 高い位置の副詞表現の相対的位置関係と ガ格主語の解釈について	毛利 史生, 林 幸代, 鄭 磊 中国語の <i>wh</i> 条件文 - <i>wh</i> 句/代名詞 <i>ta</i> の交替について-

	C会場 （K棟3階 K-303教室） 司会： 星 泉（前半）， 小林 正人（後半）	D会場 （K棟4階 K-401教室） 司会： 西村 義樹（前半）， 時本 真吾（後半）
13:30-14:00	下地 理則 南琉球宮古伊良部島方言における「複合名詞」 の品詞分類	森 貞 否定辞繰り上げ現象に関する認知類型論的研究
14:05-14:35	大塚 行誠 ティディム・チン語における否定標識	町田 章 主体性とラレル構文
14:45-15:15	長崎 郁 コリマ・ユカギール語の名詞句外所有構文について	和佐 敦子 スペイン語最上級構文における接続法
15:20-15:50	野島 本泰 ブヌン語における代名詞語根からの動詞派生	
15:50-16:10	(休憩)	
16:10-16:40	松村 一登 コーパスから見える統語的な変化 -エストニア語不定詞構文-	ギアーイー・レイラー, 鈴木 陽子 ペルシャ語児の「形容詞+ <i>kærdæn</i> 」使役と日本語 児の「~する」使役の習得の比較 -使用依拠アプローチの観点から-
16:45-17:15	山崎 雅人 満洲語文語における動名詞述語構文の情報機能	千葉 庄寿 大規模コーパスを用いたフィンランド語の 分析的使役構文の語彙的・文法的特徴の記述
17:20-17:50	熊切 拓 アラビア語チュニス方言（チュニジア）の 否定と文構造	

	E会場 (K棟4階 K-402教室) 司会： 加藤 重広 (前半), 彭 国躍 (後半)	F会場 (K棟4階 K-403教室) 司会： 宋 在穆 (前半), 堀田 優子 (後半)
13:30-14:00	大谷 直輝, 小川 典子, 澤田 淳 日本語の人称詞における指示対象の移行について - 「こいつ」, 「そいつ」, 「あいつ」 を例にして -	KIYAMA Sachiko, TAMAOKA Katsuo, TAKATORI Yuki, LIM Hyungjung Mechanism of multiple-factors influencing responses to accusation by people of Japan, Korea and the United States
14:05-14:35	李 仙花 受身文と「てもらう」文の意味的関連性について - 関与 (Inclusion) と排除 (Exclusion) における 潜在的解釈の観点から -	今西 一太 ドイツ語の話題化構文における能格的振る舞いの 意味
14:45-15:15	吉永 尚 いわゆる打消の助動詞「ず」についての統語的分析	中村 たか子 一時的状態述語 / 一時的属性述語としての 「VNする」
15:20-15:50	片岡 喜代子, 宮地 朝子 日本語の「とりたて」と叙述, その構造条件	高井 岩生 非能格自動詞の使役化と非対格自動詞の使役化
15:50-16:10	(休憩)	(休憩)
16:10-16:40	劉 羸 中国語の談話標識である「这个」・「那个」の 機能について	夏 海燕 動詞の意味拡張に見られる被害性の発生
16:45-17:15	胡 叡 日本語における意見表明の仕方に関する一考察	宮本 大輔 事象のスケール性に基づく英語不定目的語削除の 分析
17:20-17:50		王 蓓淳, 由本 陽子 中国語複合動詞「改V」の形成と意味 - 日本語の 「V+かえる」「V+直す」との比較を参考に -

	G会場 (K棟6階 K-601教室) 司会： 川越 いつえ (前半), 菅原 真理子 (後半)
13:30-14:00	儀利古 幹雄 外来語の語中における音節性の喪失 - /ru/, /su/ の振る舞いの特殊性について -
14:05-14:35	三村 竜之 デンマーク語閉鎖音の再解釈 - 具体音声と音韻解釈 -
14:45-15:15	高橋 康徳 新派上海語変調の通時的特徴と共時的音韻分析に おける影響
15:20-15:50	小泉 有紀子 曖昧構文の理解における従属節の韻律の影響 - 英語 <i>if</i> 節を中心に -
15:50-16:10	(休憩)
16:10-16:40	吉岡 博英 対をなす有声子音と無声子音の構音動態について
16:45-17:15	二ノ宮 崇司 ジッパーリ語における強調音の音響解析
17:20-17:50	青井 隼人 琉球語宮古多良間方言の中舌母音

ワークショップ 11月29日(日) 9:30~11:20 (大学教育推進機構 K棟)

B会場 (K棟3階 K-302教室)	ワークショップ1 New Word Grammar at work: How NWG structures the language Organizer and Chair: SUGAYAMA Kensei	
	WG and NWG: A contrastive introduction	SUGAYAMA Kensei
	How NWG explains agglutination in Turkish: A case study	YOSHIMURA Taiki
	Dependency structure and phrase structure	MAEKAWA Takafumi
	Closed-class semantics in NWG: A cognitive-based semantic network model NAKANISHI Mitsukazu	
D会場 (K棟4階 K-401教室)	ワークショップ2 知覚の言語学に向けて：行為と知覚の関係はどう言語化されるか？ 企画：長谷川 明香，司会：西村 義樹，コメンテータ：本多 啓	
	知覚と構文：英語の知覚動詞	長谷川 明香
	知覚とヴォイス：タガログ語のヴォイス現象	長屋 尚典
	知覚とダイクシス：日本語の「てくる」	古賀 裕章
	知覚とアスペクト，証拠性：シベ語の補助動詞 児倉 徳和	
E会場 (K棟4階 K-402教室)	ワークショップ3 On interaction between syntactic and semantic interpretations in child grammar Organizer and Chair: KIGUCHI Hirohisa	
	The anti-reconstruction effect and grammar variation in Japanese	GORO Takuya
	A truncated cleft analysis on inverted pseudoclefts in English	KIGUCHI Hirohisa
	Pseudocleft structures in child English	THORNTON Rosalind

ポスター発表 11月29日(日) 11:30~13:00 (大学教育推進機構 K棟)

K棟3階 ホール	黄 菲菲 日本語における無生物主語ニ格受動文の成立条件—情報構造の観点から—
	林 炫情，玉岡 賀津雄，李 在鎬 韓国語のオノマトペと動詞の共起パターンに関するコーパスとヒトの言語産出の比較研究
	李 在鎬，横森 大輔，土屋 智行 形容詞の語義判定に関する実験的調査
	KAWACHI Kazuhiro A report on the vitality of the Kupsapiny language (Southern Nilotic) with a community profile of the Sebei Region of Uganda
	高橋 光子 文法化における語彙的意味の希薄化と文脈の選択制限—「決して」と「重ねて」を例に—

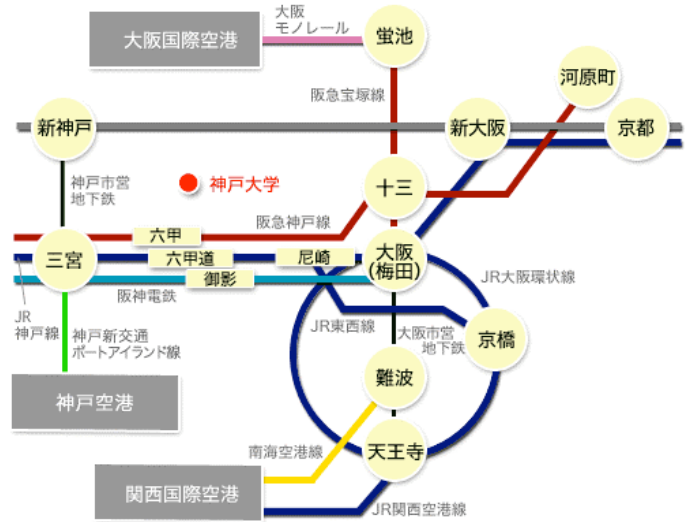
神戸大学へのアクセス

空港から

- 大阪国際空港から
モノレール、阪急利用「六甲」下車 約70分
- 関西国際空港から
JR利用「六甲道」下車 約90分
- 神戸空港から
神戸新交通、阪急利用「六甲」下車 約25分

駅から

- 新大阪から
JR神戸線「六甲道」下車 約26分
- 新神戸から
神戸市営地下鉄、阪急神戸線「六甲」下車 約10分



最寄り駅から会場まで

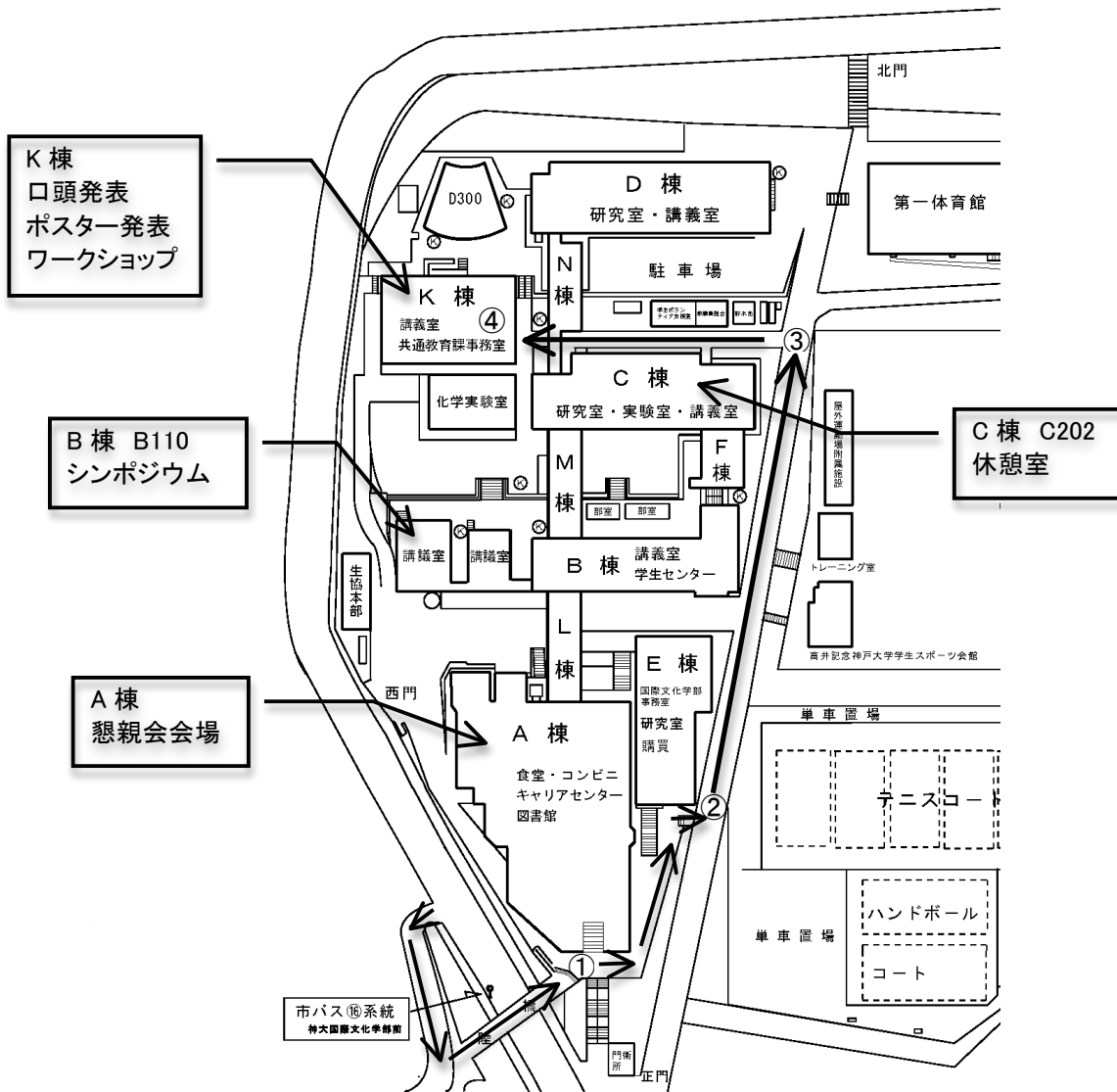
徒歩 阪急「六甲」駅から約15～20分

バス 阪神「御影」駅、JR「六甲道」駅、阪急「六甲」駅より神戸市バス16系統六甲ケーブル下行きに乗車、「神大国際文化学部前」下車 約10分～15分

*バス時刻については以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/access/transport/teiryuujo/kei016.html>

会場配置図



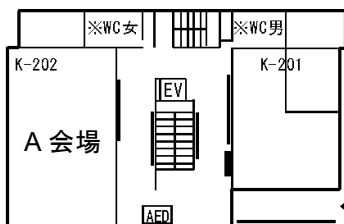
バス停から会場 (K 棟) までの経路

頭上の陸橋を渡ってポイント①へ。左側に階段があるがのぼらず直進し、クラブ勧誘の立て看が並んでいる方へ進む。立て看に沿って左に進むと、「神戸大学 国際文化学部 総合人間科学研究科」という赤茶色の石碑がある。その石碑の左横をすり抜けると、テニスコートに隣接した広い道に出る (ポイント②)。道をのぼると、道の左側に「大学教育推進機構」の左折表示がある (ポイント③)。そこを左折して直進すると、K棟正面 (ポイント④) です。

なお、次のウェブサイトにも詳しい経路の情報が 있습니다。

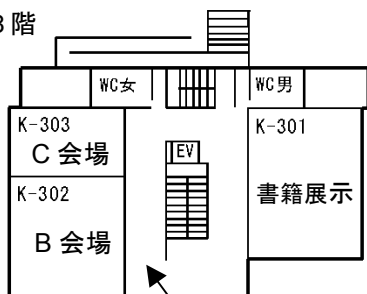
<http://www11.ocn.ne.jp/~iskwshin/kaccess.html>

K棟 2階

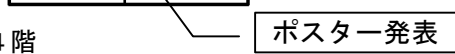


入口・受付
階数表示は2階ですが、
実際は入口が1階に
なります。

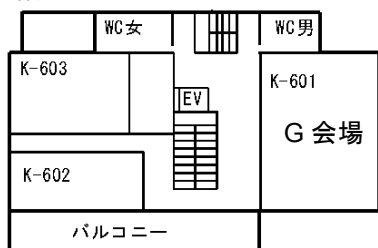
3階



4階



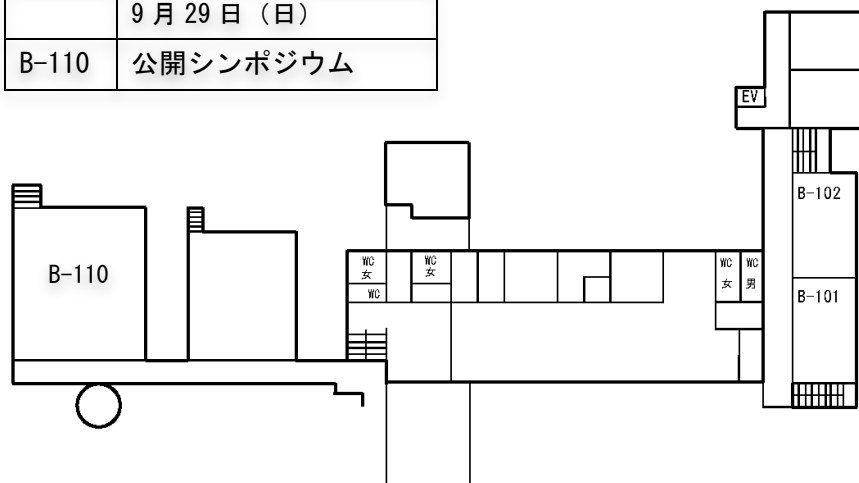
6階



	9月28日(土)	9月29日(日)
K-202	口頭発表 A会場	
K-302	口頭発表 B会場	ワークショップ1
K-303	口頭発表 C会場	
K-401	口頭発表 D会場	ワークショップ2
K-402	口頭発表 E会場	ワークショップ3
K-403	口頭発表 F会場	
K-601	口頭発表 G会場	
3階ホール		ポスター発表
K-301	書籍展示・資料展示	書籍展示・資料展示

B棟 1階

	9月29日(日)
B-110	公開シンポジウム



お知らせ

◆保育室の設置

本大会では保育室を設置します。保育室の利用を希望される方は、学会ホームページ「保育室の設置について」をお読みになった上で、**11月11日(水)までに**保育室担当宛にメールでお申し込みください（締切厳守）。

- ・利用可能時間： 11月28日(土) 13:00-18:30 11月29日(日) 9:00-16:00
- ・料金： お子様1人1時間につき500円

◆大会予稿集の販売

- ・大会予稿集は、大会当日に受付にて販売します（1部2,000円）。大会前の予約・購入はできません。
- ・大会終了後に残部がある場合は、大会予稿集の郵送を受け付けます。郵送ご希望の方は、「部数、送付先」を明記の上、学会事務局までお申し込みください（送料込みで1部2,500円）。代金は送付時に同封される振込用紙にてご送金ください。

◆同封はがきによる申し込み

下記の申し込みは、同封のはがきで**10月30日(金)(必着)までに**お願いします。（人数把握のため事前申し込みにご協力ください。）

- ・第1日の懇親会への参加（一般5,000円、学生3,000円）
- ・車椅子の利用（事前の申し込みがあった場合、若干数を用意いたします。）
*今大会では、日曜日に食堂が営業しますので弁当の販売はありません。

◆出張依頼状

所属機関宛の出張依頼状をご入用の方は、返送先を明記し切手を貼った返信用封筒を同封の上、**10月30日(金)(必着)までに**学会事務局までお申し込みください。

◆書籍展示コーナー

書籍展示コーナーは、K棟（K-301）です。

◆資料展示コーナー

資料展示用のスペースを用意します（K-301）。会員に紹介したい学会、研究会、講演会のパンフレット等置くことができます。（配布物は当日受付にご持参ください。）

◆大会予稿集、『言語研究』のバックナンバー

大会予稿集および『言語研究』のバックナンバー購入をご希望の方は、「号、購入部数、送付先」を明記の上、学会事務局までお申し込みください。代金は送付時に同封される振込用紙にてご送金ください。

※在庫情報は学会ホームページをごらんください。

- ・大会予稿集：「研究大会について」>「予稿集のバックナンバー」
- ・『言語研究』：「学会誌『言語研究』について」>「バックナンバーの購入案内」

次回大会予告（2010年春季大会：第140回大会）

場所： 筑波大学（茨城県つくば市）

日程： 6月19日(土) 口頭発表

6月20日(日) ワークショップ、ポスター発表、公開シンポジウム

大会までのスケジュール：

- ・発表応募締め切り **2010年3月20日(土)**（必着）（『言語研究』、学会ホームページ掲載の規定に従い、学会事務局までご応募ください。）
- ・採否通知 4月中旬
- ・大会発表要旨（学会ホームページ、『言語研究』掲載）締め切り 5月6日(木)（予定）
- ・予稿集原稿締め切り 5月14日(金)（予定）

お問い合わせ・お申し込み先

日本言語学会事務局 〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入

Tel. (075)415-3661, Fax. (075)415-3662, E-mail: lsj@nacos.com